

全 員 協 議 会 会 議 録

(平 成 2 7 年 2 月 2 5 日)

1 . 各一部事務組合の現況と経過報告

む つ 市 議 会

むつ市議会全員協議会会議録

○開会の日時 平成 27 年 2 月 25 日（水） 午前 10 時 45 分開会
午前 10 時 59 分閉会

○場 所 むつ市議場

○出席議員（24人）

2番	横垣	成年	3番	工藤	孝夫
4番	佐々木	肇	6番	目時	睦男
7番	村川	壽司	8番	佐賀	英生
9番	東	健而	10番	石田	勝弘
11番	富岡	幸夫	12番	斉藤	孝昭
13番	濱田	栄子	14番	浅利	竹二郎
15番	中村	正志	16番	半田	義秋
17番	村中	徹也	18番	大瀧	次男
19番	富岡	修	20番	佐々木	隆徳
21番	上路	徳昭	22番	鎌田	ちよ子
23番	菊池	光弘	24番	岡崎	健吾
25番	白井	二郎	26番	山本	留義

○欠 席 議 員 （ 1 人 ）

5 番 川 下 八十美

○説明のため出席した者

市					長	宮	下	宗一郎
副		市			長	新	谷	加
教		育			長	遠	島	進
公	營	企	業	管	理者	遠	藤	雪
總	務	政	策	部	長	伊	藤	道
財		務		部	長	石	野	了
民		生		部	長	松	尾	秀
民	生	部	理	事	保	健	福	祉
保	健	福	祉	部	長	猪	口	和
經		濟		部	長	花	山	俊
						浜	田	一
								之

建設部長	鏡谷晃
下水道部長	酒井嘉政
川内庁舎所長	松本大志
脇野沢庁舎所長	白尾芳春
会計管理者 総務政策部理事出納室長	鹿内徹
教育部長	古川俊子
公営企業局長	齊藤鐘司
総務政策部政策推進監	高橋聖
総務政策部副理事総務課長	川西伸二
財務部政策推進監	柳谷孝志
財務部副理事財政課長	氏家剛
民生部政策推進監国保年金課長	畑中秀樹
民生部副理事環境政策課長	東雄二
大畑庁舎副理事産業建設課長	坂井隆
総務政策部総務課主幹	中村智郎
民生部環境政策課主幹	品木聡
総務政策部総務課主任主査	栗橋恒平

○事務局出席者

事務局長 柳田 諭	次長 濱田 賢一
総括主幹 佐藤 孝悦	主任主査 村口 一也

(午前 10 時 45 分 開会)

○議長（山本留義） ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日の全員協議会は、各一部事務組合の現況と経過報告を受けることにしております。

それでは、市長から報告を求めます。市長。

（宮下宗一郎市長登壇）

○市長（宮下宗一郎） 各一部事務組合の現況と経過について、その概要をご報告申し上げ、協議の参考に供したいと存じます。

最初に、一部事務組合下北医療センターについてであります。昨年11月28日開会の組合議会第25回臨時会に提案され、可決及び承認されました3議案2報告についてご説明いたします。

まず、議案第8号 一部事務組合下北医療センター特別理事の設置及び給与等に関する条例の一部を改正する条例についてであります。これは、特別理事でありますむつ総合病院長の期末手当の支給割合を改定したものであります。

次に、議案第9号 一部事務組合下北医療センター職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についてであります。これは、青森県人事委員会の勧告に鑑み、職員に適用される給料表及び勤勉手当の支給割合を改定したものであります。

次に、議案第10号 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更についてであります。これは、同組合の構成団体として青森市を加入させること及び共同処理する事務のうち市町村税等滞納整理に関する事務に青森市を加えることから、同組合を組織する地方公共団体数の増加及び規約の変更をするためのものであります。

次に、報告第8号及び報告第9号についてであります。これらは、損害賠償の額を定めることについて及び平成26年度一部事務組合下北医療センター補正予算でありまして、むつ総合病院で発生した医療事故に係る損害賠償金の支払いに急を要したため専決処分したものであります。

なお、11月1日後の医師の異動についてであります。現在まで行われておりませんので、特に申し上げる事項はございません。

次に、下北地域広域行政事務組合についてであります。昨年11月28日開会の組合議会第52回臨時会に提案され、可決されました4議案についてご説明いたします。

まず、議案第17号及び議案第18号についてであります。これらは一部事

務組合下北医療センター議案第9号及び議案第10号でご説明申し上げたものと同様のものであります。

次に、議案第19号 平成26年度下北地域広域行政事務組合一般会計補正予算についてであります。これは、給与改定及び職員の配置換え等に伴う人件費の増減調整に伴う補正が主なものであります。

次に、議員提出議案第1号 下北地域広域行政事務組合手数料徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例についてであります。これは、昨年9月25日開会の組合議会第101回定例会に提案され、可決されました下北地域広域行政事務組合手数料徴収条例の一部を改正する条例の規定による処理施設へのごみの搬入に係る手数料の改定について、段階的に引き上げることとしたものであります。

以上、各一部事務組合の現況と経過の概要をご報告申し上げた次第であります。

○議長（山本留義） ただいまの市長の報告及び各一部事務組合の現況について質疑ありませんか。横垣成年議員。

○2番（横垣成年） 1点だけお願いします。

下北医療センターのほうのむつ総合病院に透析センターという報道をされた件についてちょっと何点かお聞きさせていただきたいと思います。

この透析センターは、新聞の報道によりますと、2016年度中のオープンを目指すと、総工費は4億円から6億円程度を見込むと、ただし建設場所は現時点では未定と、こういう内容の報道であります。その前に下北医療センターのほうでは9月議会が開かれて、その中では市長のほうから病棟の改築が必要だと、築後37年を経過していて、耐震診断において現行耐震診断基準を満たしていないというのが判明したということで入院病棟の建て替えも急がれると、そして本年度中に基本方針を定めて、平成27年度以降に具体的な事業計画を策定する予定というふうになっております。これがベースとなっているのですが、これにこの透析センターというのがプラスされるということですが、そこでお聞きしたいのですが、この議会にも透析センターについては何も説明をされていないという中で、議会に説明する前になぜこういう形でマスコミに発表したのかということをお聞きしたい。

そして、2点目ですが、病棟をそれこそつくるというふうな計画があつて、そして病棟と別々につくるのか、それとも病棟と一緒にした形での計画で進むのかということも全く不明確だということをどのように考えるかということをお聞きしたい。

そして、このむつ市への財政の影響、この財政への影響はどういう形にな

るのかというのもちっとお聞きしたいなというふうに思います。この透析センターに関してです。

そして、私が一般質問でお聞きしたのでありますが、財政が大変厳しいというところで、やっぱり財政計画をしっかりとつくって、そしていろんな事業を進めていくという答弁をもらったのでありますが、この透析センターは、そういう意味では財政計画というのとリンクされた形で、これがマスコミに発表されたものかどうかというのもお聞きしたいというふうに思います。

以上です。

○議長（山本留義） 市長。

○市長（宮下宗一郎） お尋ねは4点ほどあったと思いますが、一つ一つについてお答えさせていただきます。

議会の前に発表したという話ですけれども、これは当然平成27年度の下北医療センター議会の中で議論をしていただく内容だというふうに思っていますので、これから議会の中で議論していただきたいなというふうに思っております。

それから、病棟と別々でやるのかという話、あるいはむつ市への財政の影響、あるいはこれからの財政計画とのリンクというお話については、当然そういったことも考えておりますけれども、下北医療センターの議会の議論の中でやらせていただきたいと思います。

○議長（山本留義） 横垣成年議員。

○2番（横垣成年） この全員協議会というのは、下北医療センターのほうで議論させていただきますという答弁ではちょっと困るのです。今市長が考えている現状をここで報告し合うという形でこの全員協議会という形がとられているので、私が聞いて、それを全てまた下北医療センターのほうで議論させていただきますという、全然質疑応答のやりとりができないという形になりますので、市長の考えをやっぱりきちんと述べてもらいたいなというふうに思います。

しかも、下北医療センターのむつ市の財政への影響というのは大変大きなものがありますから、そこも含めてしっかり答弁してもらわないと、我々むつ市の議会の中で、本来下北医療センターのほうの議論ができない分、やっぱりここできちんと答弁してもらわないと困るということになっておりますので、ぜひ市長、そういう前提で答弁してもらいたいなというふうに思います。

再度お聞きいたしますが、これはやっぱり病棟と別個にもう計画されるのか、それともきちんと病棟とリンクされた形で市長としてはイメージとし

て提案したものかどうかというのもお聞きしたい。

それと、やっぱり財政です。財政計画をきちんとつくって、こういう何億という事業がいきなりぼんぼんぼんと出てくると困るなというふうに思っているのです。財政が厳しい、厳しいと言いながら、その一方では何億という事業がいきなり出てくると。こういう形の財政運営を逆に今までやってきたがために財政がおかしくなったということとも言えると私は思いますので、きちんと財政計画ができたうえでこういう発言がなされたのか、それともない状態でこういう発言をされたのかということも答弁お願いしたいなと思います。

○議長（山本留義） 市長。

○市長（宮下宗一郎） まず、この場で答弁するかどうかというお話からお話をさせていただきますけれども、下北医療センターの議会に提案する前の今状況でありまして、そういったタイミングの中で、この場で全てそこで議論すべきことをやるというのは、私はその下北医療センターの議会のほうをむしろ軽視することにつながるのではないかというふうなことで考えているということがありますから、答弁を差し控えさせていただきますということで申し上げます。これは、私が市長に就任してから今回3回目の議会になりますけれども、全員協議会の中では繰り返しそのようなことで答弁をさせていただいているというふうに認識しています。

それから、中身についてですけれども、病棟と別個にやるのかとか、財政計画との関係はどうなっているのかということは、私自身もこれしっかり考えてやらせていただいていますので、それは下北医療センターの議会の中でしっかりと答弁をさせていただきます。

以上です。

○議長（山本留義） 横垣成年議員。

○2番（横垣成年） どうも今の答弁を聞くと、余り財政計画を念頭に置いた形でこういうマスコミに発表はしていないなというふうに思います。しかも、土地もまだ決まっていないというふうな形で、安易にこういうのを発表すべきでない。やっぱり混乱をする原因をつくと思うのです。それこそこういうのを発表して期待される方が大変多くいると思うのです。それを発表して、それこそ3年も4年もたっても全然実現しないということになったら、逆に市長、これは大変なマイナスイメージですよ。だから、そういう意味では、こういうものを発表するのであれば、しっかりとどこの場所に建てるのか、そういうのもきちんと計画を、そこまで言える段階でしっかりまず議会のほうに、下北医療センターのほうに発表して、そしてマスコミのほうに

報道するという形をとってもらいたいなというふうに思います。ここは強く、やっぱりそういう形で、それこそまた財政計画もしっかりとつくったうえでこういうのも発表してほしいと、これは強く要望しておきたいなというふうに思います。

以上です。

○議長（山本留義） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山本留義） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で各一部事務組合の現況と経過報告を終わります。

お諮りいたします。本日の全員協議会は、これで閉会したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山本留義） ご異議なしと認めます。

よって、本日の全員協議会はこれで閉会いたします。

午前 10 時 59 分 閉会